



記念碑の除幕を行う各国の大使ら

桜を通じ国際友好を誓う

植樹事業 20 周年を記念して

2017 国際親善観桜会

日本さくらの会が主催する「2017 国際親善観桜会」は 4 月 27 日、ホテルリステル猪苗代で開かれ、ガーナやカナダなど十カ国の駐日大使や関係者が参加し、桜を通じた国際友好を誓いました。

リステルグループなどでつくる「国際親善さくらの記念植樹祭実行委員会」は、平成 10 年から桜の植樹事業を行っており、今回で 20 年目の節目を迎えました。これまでに 16 カ国が参加し、同ホテルの敷地内に桜の植樹を行ってきました。

式典では、鈴木長治実行委員長が「桜を通じて各国が手をつなぎ、世界中の人々が平和に暮らせるように努力しましょう」と開会を宣言。日本さくらの会の蓮實進理事長、シルベスタ・ジュドゥ・パポ・パーカー・アロテ駐日ガーナ大使らがあいさつを述べました。

植樹事業 20 周年の記念碑が除幕され、日本さくらの会の歴代女王らがシダレザクラの苗木を植樹しました。

また、歓迎レセプションでは、内堀雅雄知事が「桜は厳しい冬を乗り越えて美しい花を咲かせます。福島県も困難を乗り越えて美しい花を咲かせたい」とあいさつ。緑小学校児童の和太鼓の演奏や吾妻小学校児童による白虎隊の剣舞などが披露され、会場からは盛んな拍手が送られました。



和太鼓を演奏する緑小学校の児童



白虎隊の剣舞を披露する吾妻小学校の児童



Pick Up

今月のイベント

春らんまん 観音寺川の桜並木

大勢の花見客でにぎわう
観音寺川の桜並木



桜並木を水彩画でスケッチする根本さん
(右)と早苗さん

観音寺川桜祭りは 4 月 15 日から 5 月 7 日まで、観音寺川桜並木周辺で開かれました。

「東北・夢の桜街道」桜の札所・八十八カ所の第 11 番札所に選定されている観音寺川の桜並木。美しく咲き誇る桜並木を一目見ようと、県内外から延べ約 11 万 2 千人が訪れました。

期間中は、だんごやクレープなどの露店が立ち並んだほか、川桁謡真鼓楽会による和太鼓の演奏など多彩なイベントが催され、訪れた花見客を喜ばせました。また、今年も町商工会青年部と同会 OB 有志による LED 七色ライトアップが行われ、桜並木を鮮やかに彩りました。

新潟県から訪れた根本明則さんは「段になって流れる小川と桜のコントラストが素晴らしいです。ほかの桜の名所より開花時期が遅いのも魅力の一つですね」と感想を話しました。

まちの応援マガジン いなわしろ 広報 猪苗代

Jun.2017
6
No.680

今月の表紙



【撮影日】 5 月 26 日
【撮影場所】 尚志高校

上段内回し蹴りを繰り返す尚志高校空手道部 2 年生の野本寛人さん(川桁)。現在の目標は、地元猪苗代で 7 月に開催されるインターハイへの出場。県大会前の練習風景を撮影させていただきました。

Contents — 【目次】

- 02 Pick up
- 03 2017 国際親善観桜会
- 04 小学校運動会
- 06 第 60 回磐梯山山開き
- 08 まちのわだい
- 12 笑顔でこんにちは／サークル紹介
- 13 スクールトピックス／ホットニュース
- 14 いなわしろタウンページ
- 18 暮らしの情報広場
- 20 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー